

# 全国一斉「カタシロ×図書館」 展示についての事例報告

熊本県立大学図書館司書

高倉 暁大

たかくら・あきひろ

TRPG（テーブル・トーク・ロールプレイング・ゲーム）という、参加者で物語を紡いでいく、ストーリーテリングのゲームがあります。YouTube等の動画視聴文化と結びつき、近年（一部ですが）若い方々に人気のコンテンツとなっています。その中で2020年に発表された「カタシロ」という物語が、知的好奇心を刺激する内容となっており、図書館資料を紹介することで、より深く楽しめるのではないかと考え、図書館での展示企画を行いました。本稿では、若者文化と図書館資料を繋げる事で発生した事象について解説していく。

はじめに .....	68
1. 「カタシロ」とは? .....	68
2. 最初にゲームを体験してみた .....	68
3. 企画開始 .....	69
4. 募集開始 .....	69
5. 展示開始 .....	69
6. 振り返りを公開 .....	70
7. その後の展開 .....	71
まとめ .....	71

## はじめに

「カタシロ<sup>1)</sup>」という、若い世代（10代～20代）を中心に人気を博しているゲームシナリオ（物語）があります。本稿では、図書館「カタシロ」での展示事例を紹介し、その目的や狙い、効果などを述べていきます。

## 1. 「カタシロ」とは？

TRPG（テーブルトーク・ロールプレイング・ゲーム）という、司会進行役と参加者が対話しながら物語を進めていく、ストーリーテリングゲームのシナリオ<sup>2)</sup>です。ゲームで遊ぶ様子はYouTubeで公開されています<sup>3)</sup>。また、そ

の物語性の高さから、舞台劇にもなり、声優・漫画家・芸人・ゲームクリエイターなど様々な方が参加され、人気を博しています。

## 2. 最初にゲームを体験してみた

知り合いの子に「カタシロという、とても面白いTRPGのシナリオがあるのですが、遊んでみませんか」という提案を受けて実際に体験したところ、とても面白い物語であると同時に、哲学的な問いや、思考実験などが盛り込まれており「ゲームを通じて哲学などに関心が出るので、本と繋げると、より面白くなるのでは」と感じました。実際に遊んでい

る様子が動画で多数公開されているので確認したところ、精神科医である名越康文さんが体験されており、動画では場面ごとに精神科医から見た解説をしていました。動画のコメント欄では、多くの方が解説について感想を書いており、好奇心を刺激されている状態だと感じました。図書館で関連本を展示する事で、この物語が好きな子達へ、良い体験を提供できると思い、企画展時を思いつきました。

### 3. 企画開始

最初に行ったのは、シナリオ作者さんであるディズム様<sup>5)</sup>への連絡でした。「カタシロ」という物語は、企業ではなく個人の方が制作された、いわゆる同人的なコンテンツでしたので、直接ディズム様に連絡を取り、お願いしたところ快諾していただけただけではなく、展示に使える画像データの送付や、展示企画の紹介をしていただけるなど、大変暖かい対応をしてもらえました。

最初は、私の所属している大学図書館のみで行おうと考えていましたが、以前【福岡県内図書館合同企画、一斉ゲーム展示「ゲームで読書しませんか?」】<sup>6)</sup>という企画を行っていたので、全国の図書館に呼びかけると参加してくれるところがあるのではないかと考えました。ですが、いかに「カタシロ」が若い方に人気のコンテンツとしても、情報過多の昨今、「カタシロ」を知っていて、展示を作るほど情熱のある司書さんが何人いるかという不安もありました。そこで、事前に私のツイッターでアンケート<sup>7)</sup>を取り、「カタシロ」が好きな司書さんがどれくらいいるかを調べたところ、70人ほどの司書さんがご存知で

した。仮に70人中5人の人が企画に参加してくれたら十分に企画が成立すると考え、募集を開始しました<sup>8)</sup>。また、個人的に知っている司書さんへも声をかけており、仮に募集が0でも企画が開催出来るようにしていました。

### 4. 募集開始

私のツイッターやブログ等で「カタシロ×図書館」の募集を開始すると、良い意味で予想していなかった事が起こりました。私は、全国にいるTRPGや「カタシロ」が好きな司書さんが手を挙げて、参加してくれると嬉しいなと思っていましたが、最初に多く手を挙げてくれたのでは、「カタシロ」が好きな現役の高校生や大学生の方々からでした。『私の通っている高校図書館でやりたいです』『大学図書館で展示したいです、図書館サークルに所属しています』という嬉しい連絡が早い段階で多数入りました。

この文章で、私が一番伝えたい事になりますが、図書館になかなか若い方が来館してくれない、興味・関心を持ってもらうのが難しい。という声をよく聞きますし、私もそう感じています。ですが、この経験を通じて、若い方は図書館に良いイメージを持ってくれており、何かきっかけがあれば、素敵な関係を築く事が出来る。というのを感じました。世代に関係なく、自分が好きだと思うものを人に伝えたい情熱を図書館が上手く受け止める事で、素晴らしい事が出来るのだと実感しました。

### 5. 展示開始

前もってお願いしていた図書館や、手を挙

げてくれた図書館・学生さんに、ディズム様からいただいていた展示用画像データの送付や、注意事項の説明などをおこない、全国各地での「カタシロ×図書館」展示が始まりました。ツイッターなどで感想を探すと、概ね好評で「カタシロが好きな人たちと、図書館（本）を上手く繋げられたようだ」とホッとしていたところ、再び予想していなかった事が起こりました。知り合いの学生さんから『高倉さん、カタシロ展示のツイートが凄いことになっていますよ!!』と興奮気味に連絡を受け、詳しく聞いてみると、「カタシロ」の作者であるディズム様（フォロワー5万人）のツイートで紹介していただいております、リツイート数が600、いいねが2,300ほど付いており、いわゆる【バズった】状態になっていました。さらにその後、ニュースサイトの「カイユウ」さんにも取り上げていただきました。私は知らなかったのですが、学生さんに聞いたところ「カイユウ」さんは、若い方がよく見るニュースサイトで人気との事でした。<sup>10)</sup>「カイユウ」さんのニュースは、自動的にYahoo ニュースにも掲載されるので、より多くの方へ告知する事ができました。

ディズム様のツイッターによる告知 → コアなファン層へのリーチ。

「カイユウ」への掲載 → 若い方全般へのリーチ。

Yahoo ニュースへの掲載 → 一般層へのリーチ。

上記の告知の流れにより、多くの方に知ってもらえた結果、私のところへは再び「図書館×カタシロ」展示へ参加したいという連絡が多く入るようになりました。高校生や大学

生だけでなく、公共図書館の司書さんからも多くいただき、最終的には公共図書館4館、大学図書館4館、高校図書館4館の合計12館の図書館で行われました。

高校・大学図書館では、展示をした生徒と展示を見に来た生徒で新しいコミュニティが生まれたり、公共図書館では展示を作った事にお礼を言われるなど、関わった人達が嬉しくなるような事が多数あったと聞いています。私も、職場である大学図書館で「カタシロ×図書館」展示をきっかけに色々な学生さんと繋がる事ができ、とても良い企画展示が出来たと感じました。

## 6. 振り返りを公開

こういった前例のない企画をする時は、告知も大事ですが、企画でどんな事があったのかなど、終わった後の振り返りも残しておくのが大事だと考えています。この文章もそういった意図で書いておりますし、図書館関係の方には、この文章が届くと思いますが、「カタシロ×図書館」展示に興味を持ってくださった若い方々（高校生・大学生）には、残念ながらこの文章は届かないと思います。そこで、若い方々に企画でどんな事があったのかを届けるために、関係者による振り返り雑談をYouTubeで配信する事にしました。<sup>12)</sup>少しでも多くの方に見ていただくために、ダメ元でディズム様に参加をお願いしたところ快諾していただきました。ディズム様による告知もあり、当日はリアルタイム視聴が300人程度、再生回数が2326回（2022/4/4現在）と、多くの方に観ていただいております。振り返り配信は、展示を作った司書や高校生にも発

表してもらい、終始暖かい雰囲気が進められました。この配信動画を作った反響は大きく、いくつかの高校図書館に行った際に「ディズムさんとの対談動画観ましたよ」と、声をかけられる事もあります。

## 7. その後の展開

途中参加による延長もありましたが、展示期間も終わり、企画は無事に終了しました。今回の企画で出来た繋がりには新たな活動を生み出し、長野県塩尻市立図書館と地元の高校生による「TRPGを楽しもう！」<sup>13)</sup>という企画に繋がりました。リアルカタシロ公開セッションと銘打って、高校生の子が司会進行をして、実際にカタシロを図書館で遊び、参加者はその様子を見学するという内容でした。<sup>14)</sup>長野県塩尻市立図書館のFBによると、参加者は20人程度で、終了後に交流会が自然発生し、新たなコミュニティ創出に繋がったと聞いています。また、今回の企画で交流を深めた長野県塩尻市立図書館と長野県安曇野市図書館は、共同で新たなTRPG企画を進めています。

## まとめ

全国の公共図書館、学校図書館が連携する素晴らしい企画が出来たと感じていますが、私は単にきっかけを作ったに過ぎません。カタシロという素晴らしいゲーム(物語)を作ったディズム様がいて、それを好きになったユーザーがいて、カタシロを私に勧めてくれた子がいて、展示を作りたいと思った司書と生徒がいて、その許可を出して下さった上の方がいて、と全てが繋がって出来たと思っ

ています。回りの方々には本当に感謝しかありません。

図書館で前例のない企画をするのはリスクを感じると思いますが、上の方々におきましては、若い方のチャレンジに許可を出し、失敗も含めて暖かく見守っていただけると嬉しく思います。

また、他にも色々なゲームと図書館の活動をおこなっていますので、興味のある方は、ブログ「図書館×ゲーム」(<https://henauru.hatenablog.com/>)や、ツイッター(@librarian03 格闘系司書)でも活動報告をしていますので、チェックしていただけるとありがたいです。

### 【注】

- 1) “クトゥルフ神話 TRPG 対話型シナリオ「カタシロ」BOOTH  
<https://booth.pm/ja/items/2274429> (参照 2022.03.07)
- 2) “図書館危機管理 TRPG” 最初に TRPG の説明あり。  
<https://henauru.hatenablog.com/entry/2018/08/27/141436>
- 3) “TRPG/カタシロ”  
[https://www.youtube.com/playlist?list=PLkqcjLPA\\_UDVaOEwRtAKvxldHNIcCeS6EB](https://www.youtube.com/playlist?list=PLkqcjLPA_UDVaOEwRtAKvxldHNIcCeS6EB)
- 4) “舞台『カタシロ RubuiLd』名越康文/ディズム/藍月なくなる”  
<https://www.youtube.com/watch?v=99rIIXjKkUE>
- 5) 作者であるディズム様のツイッターアカウント @DizmKDC
- 6) 福岡県内図書館合同企画、一斉ゲーム展示「ゲームで読書しませんか?」  
<https://henauru.hatenablog.com/entry/2021/03/09/021429>
- 7) 格闘系司書ツイッター  
<https://twitter.com/librarian03/status/1413130393134325766?s=21&t=sLcB1LE57VW6rJ0mCNHm-A>
- 8) 「カタシロ×図書館」展示のお誘い  
<https://henauru.hatenablog.com/entry/2021/07/27/200911>
- 9) ディズ様による告知ツイート  
[https://twitter.com/DizmKDC/status/1451480976614301698?s=20&t=5AksW\\_BW36Fy2A43TNBolw](https://twitter.com/DizmKDC/status/1451480976614301698?s=20&t=5AksW_BW36Fy2A43TNBolw)
- 10) ディズム『カタシロ』展示が全国の図書館で有志が広げる TRPG の名シナリオ

<https://kai-you.net/article/81808>

11) Yahoo ニュース

<https://news.yahoo.co.jp/articles/b7cb398fd228004308e6399e371adb99351334a5>

12) 図書館×カタシロ～図書館でのカタシロ展示を振り返る～

[https://www.youtube.com/watch?v=J0\\_ZWUrBldE](https://www.youtube.com/watch?v=J0_ZWUrBldE)

13) 格闘系司書ツイッター

[https://twitter.com/librarian03/status/1498639258394894336?s=20&t=5AksW\\_BW36Fy2A43TNBolw](https://twitter.com/librarian03/status/1498639258394894336?s=20&t=5AksW_BW36Fy2A43TNBolw)

14) 長野県塩尻市立図書館フェイスブック

<https://t.co/sy5rN1oB83>